

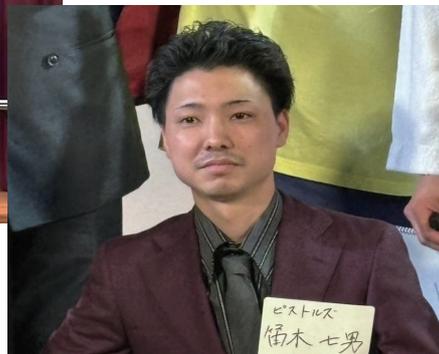
私とお笑い 笛木 ^{な お と}七男 (町内出身 吉本興業所属)



愛媛
CATV
動画



▲フリップ芸で、大家族で育ったエピソードを披露し笑いを取る 笛木さん



“大阪で夢を追う、町出身若手芸人の挑戦”

現在、大阪を拠点にお笑い芸人として活動している町出身の笛木七男さん。よしもと漫才劇場への所属を目指してオーディションライブやネタ見せライブ『MEKKEMON』に出演する日々を送っています。

笛木さんが芸人を目指すと決意したのは19歳の頃。大学受験に失敗し専門学校へ進学しましたが自身の進む道に悩んでいた時、憧れの芸人さんが出演しているテレビ番組を見ながら「まだ19歳だし挑戦できるかもしれない」と闘志に火が灯った深夜今治の6畳半。両親の後押しもあり、町内で2年間アルバイトをして資金を貯め、21歳の時に吉本総合芸能学院 (NSC) の44期生として芸人の世界へ踏み出しました。NSC入学後は、笑いを取ることの難しさや同期生の才能に圧倒されながらも試行錯誤を続け、ネタを磨いてきました。

これまでの芸人人生で3度コンビを結成し解散。「コンビは結婚みたいなものですね。価値観の違いとか、いろいろあります」と話す現在はピン芸人として活動。ピン芸人日本一を決める大会『R-1グランプリ』に出場した今年は、初めて準々決勝まで進み、ネタ動画はYouTubeに掲載されるなど躍進を見せました。自身が大家族の育ちであることを1本のネタにまとめ、「周りの芸人さんや家族から“面白いな”と言ってもらえたのは嬉しかった」と笑顔で話します。笛木さんにとってのお笑いとは“欲”に近いもの。「食欲みたいなもので、人を笑わせることで自分自身も満たされる」と話し、その感覚こそが芸人として挑戦を続ける原動力であるということを感じさせます。

よしもと漫才劇場への所属という夢を叶えるために奮闘する笛木さんのさらなる夢は、愛南町でネタを披露すること。「この町が好きなので、いつか地元の人たちの前でネタを披露したい」と、挑戦を続けます。

編集後記

春、別れと出会いの季節。南宇和高校の卒業式を取材しました。在校生からの送辞や涙ぐみながら話す卒業生からの答辞を聞いていると、自分の時はどうだったかな、と感傷に浸ってしまいました。真面目一辺倒だった自分は、面白味のない高校生活を送っていたような気がします。歳を重ねて思うのは、もっと遊んでおけばよかった。新生活が始まる皆さまへ、これからの未来が笑いあふれる素晴らしいものでありますように…☆

昨年10月号に引き続き猫に関する特集記事を寄稿してくださったテノヒラkikuさん。大阪での芸人活動が忙しいにも関わらず、取材の時間を割いてくださった笛木さん。愛南町を離れていても、地元を思っていてくださる方々のおかげで広報が作れているんだなど強く感じる4月号となりました。本当にありがとうございました。この時期は行事ごとも多く、まさに繁忙期。気合いを入れて現場に向かいます。カメラよし、点鼻薬よし！

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

愛南町の世帯数と人口
令和8年3月1日現在

世帯数	9,674世帯 (±0世帯)
人口	18,022人 (-33人)
男	8,551人 (-22人)
女	9,471人 (-11人)
愛南町の高齢化率	48.0%

※ () 内は前月比

●10年前 同月の人口 23,002人